

事業評価シート

担当課・室長：環境計画課長

事業名	基本計画の点検
上位施策名	環境基本計画の効果的実施
1 事業の概要	<p>中央環境審議会による環境基本計画全体の進捗状況の点検は、計画の効果的な実施を確保するために適切に行われる必要がある。</p> <p>このため、本事業は、 基本計画の進行管理を行うための検討 総合的環境指標等の運用 点検結果の環境白書への反映 を推進する。</p>
2 進捗状況	<p>平成 11 年度から進行管理に関する政策評価手法の基礎調査を開始し、12 年度から手法・プロセス等の開発を行っている。13 年度には、新たに特定分野の施策（群）について政策評価の試行を行い、14 年度以降、その他の分野にも段階的に運用していく予定である。</p> <p>環境指標は、環境の状況をわかりやすく表すもので基本計画の目標設定や施策効果の評価等に役立つツールであり、総合的環境指標は基本計画に掲げられている 4 つの長期的目標の達成状況やそれら目標と施策との関係等を具体的に示すものとして検討されている。「総合的環境指標等の運用」については、平成 11 年度から継続的に数値データを更新している。また、環境白書における一部公表も行っている。</p> <p>平成 13 年版環境白書の「講じようとする施策」の構成について、平成 14 年版以降点検結果を反映しやすいよう、新計画の構成に合わせる改良を行った。</p>
3 評価	<p>基本計画の進行管理については、昨年 12 月に閣議決定された第二次計画の中で、計画の進捗状況を点検して評価し得る手段が十分でなかったことが指摘されている。</p> <p>中央環境審議会による計画の点検は平成 13 年度中に開始される予定であるが、この点検は各府省の自主的な評価結果を踏まえて実施されることから、各府省における計画に関する施策の評価手法を確立し、運用していくことが急務となっている。</p> <p>総合的環境指標は、現状分析を行うことはある程度可能であるが、データの未整備、技術的な課題等により、基本計画の進捗状況等を具体的に示すことは困難である。今後も、OECD等の国際機関における環境指標の検討状況を踏まえながら、改良していくことが求められる。</p> <p>環境白書は、国会に対して行う年次報告であるとともに、広く一般に環境政策の進捗状況を知らせるものという性格もあわせ持つことから、平成 14 年版白書について、「講じた施策」についても構成を新計画に合致させるだけでなく、計画の点検結果をいかに理解しやすく反映させるかという観点から検討する必要がある。</p>
4 予算事項名	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の進行管理に係る政策評価手法の調査 ・総合環境指標の活用・普及等 ・環境勘定の改良・運用 ・環境行政年次報告書作成費
5 対応副施策等	